

趣味日语：头顶生花 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/146/2021_2022__E8_B6_A3_E5_91_B3_E6_97_A5_E8_c105_146517.htm 昔、とても怒りっぱい坊さん、それも僧正さまがいて、お寺のそばに大きな木があったので世の人々が、の木の僧正とニックネムをつけたところ、これがにくわないと言って、そのを切らせてしまいました。すると今度は、切くいの僧正と呼ばれるようになりました。これにも入らないというので、僧正さまはこの切株を掘らせてしまい、これで安心、と思ったのも束の、今度は、堀池の僧正という呼び名ができてしまいました。大きなのを根こそぎ掘り起こした後には深い大きな穴がぽっかり口をあけていたからです。これは「徒然草」という本に出てくるのですが、まことに人の口はうるさいものです。ところで、これをもじったが落にあるのです。してあたま山」。の花が散った後、青いがなり、それが赤く色づき、ついにはい紫色にわって、甘ずっぱい小さな粒がなりになっているのをごになったことがあるでしょう。もっとも、果物やさんでっているのは大粒でピンク色ですが、どちらでもよろしい。ある男がんぼを食べたとき、うっかりしてをはき出さずにのみんでしいまいしました。しばらくして忘れたころになって、のてっぺんがむずがゆいので思わず手をやってみるといたことに何やらっぱのごときものがにそよいでいるではありませんか。なに大したことあるまいと思っているにぐんぐん伸びて、今やまぎれもなくの木になっていました。春になって花がくと、どっと

花客が押しかけ、酒にって歌をうたったり、枝を散らすので夜もおちおち眠れない有。この木を根こそぎ掘り起こしたあとに水がたまり、ふなやが住みつくと、今度はり人がわんさと押しかける。世をはかなんだこの男、自分のの池に我と我が身を投じたというのです。译文对照：从前，有一个爱发火的和尚，还是位大法师。因为寺院旁边有一棵朴树，所以大家给大法师起了个外号叫朴树法师。大法师对此不满，令人把那棵朴树砍断了。于是，大家又称他为木桩法师。大发誓更是不愉快，又令人把树桩子连根挖了出来。大法师想这下子总算可以安心了，谁知道转眼之间大家又叫他为掘坑法师了。因为把巨大的朴树根挖出后地面出现了一个大坑。这是选自《徒然草》里的一个故事，真是人言可谓啊。现在我们且说一则模仿这个故事而编成的单口相声，题目是“头顶生花”。樱花谢了后，枝头挂满青色果实，它们逐渐变红，最后变成深紫色，你也许见过那酸甜的累累果实吧。不过，水果店里的都是大粒粉红色的。但也有的人认为大小都无所谓，一样吃。有一个人在吃樱桃时由于粗心大意，核没吐出来就吞下了。但他并没有把这当成一回事儿，过了一段时间感到头刺痒，伸手一摸吃了一惊，原来有类似枝叶样的东西在随风飘动。他想没什么大不了的，但那枝叶越长越大竟长成了樱树。春天来到樱树开了花，赏花人蜂拥而至，又是喝酒，又是唱歌，折花枝赏夜樱，一直闹到深夜，让他无法睡觉。他把这樱树连根挖了出来。之后，树坑里逐渐积了水，鲫鱼和鲤鱼在里面安家落户。这下子又来了许多人钓鱼。这是，吃樱桃的人感到人生无望，最后终于自己投身于自己头上的池水之中。 100Test 下载频道开通，各类考试题

目直接下载。详细请访问 www.100test.com